

廿日市市議会 第10回 議会報告会 & 意見交換会

ゼロカーボンシティ・  
ゼロカーボンパークについて

日 時  
場 所  
担 当

令和6年 8月7日 (水) 19:00~20:30  
etto 宮島交流館  
環境産業常任委員会

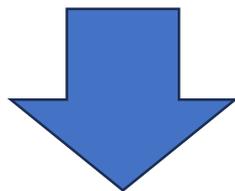
# 異常気象・自然災害 → 地球温暖化防止

2015（平成27年）年のCOP21のパリ協定で世界共通の長期目標の2つを合意

- 1 「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて $2^{\circ}\text{C}$ より十分低く保ち、 $1.5^{\circ}\text{C}$ に抑える努力をする」
- 2 「できる限り早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と吸収量のバランスをとる」

**2020（R2）年10月**、政府は**2050年**までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「**カーボンニュートラル**」を目指すことを宣言

「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味します。



**2022（R4）年6月**定例会で、市長は、市民、事業者、行政の「オールはつかいち」で「**2050年カーボンニュートラル**」を目指す「**ゼロカーボンシティ**」に挑戦することを宣言。

また、**2023（R5年）年4月**には持続可能な観光地を目指す環境省の「**ゼロカーボンパーク**」に宮島が登録されました。

二酸化炭素排出量の削減に関する施策の基本方針

# 廿日市市 地球温暖化対策実行計画を策定

2024 (R6)年 3月

# 市の二酸化炭素排出量の推移と現状



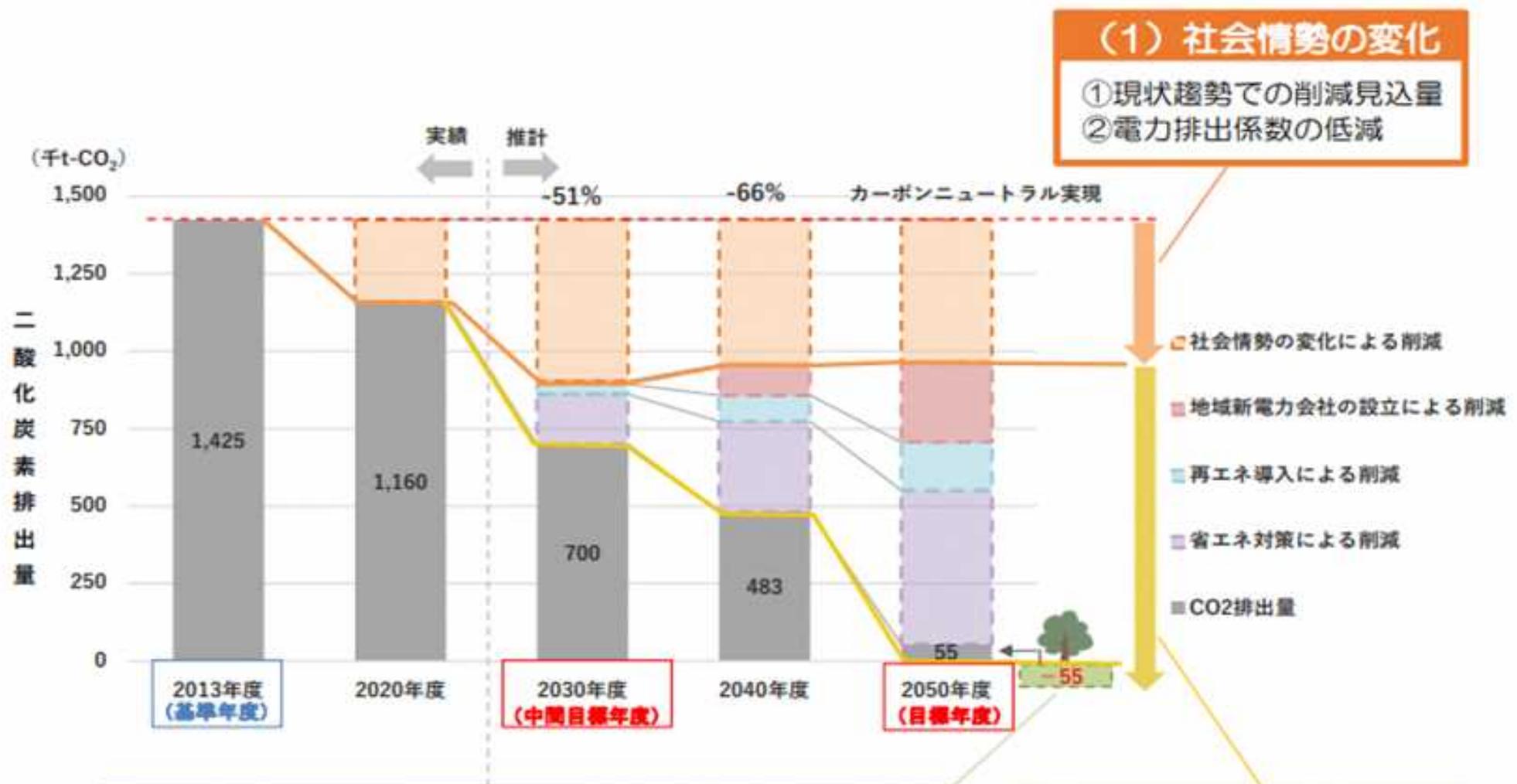
# 年度別二酸化炭素排出量削減目標

年度		2030 年度	2040 年度	2050 年度
削減目標	廿日市市	51%削減	66%削減	カーボンニュートラル
	国(参考)	46%削減	—	カーボンニュートラル

※削減目標は、平成 25 (2013) 年度に対する削減割合です。

# どうやって減らすの？

- ① 社会情勢の変化による削減
- ② 施策の推進による削減
- ③ 森林吸収によるオフセット



**(1) 社会情勢の変化**

①現状趨勢での削減見込量  
②電力排出係数の低減

**(3) 森林吸収によるオフセット**

削減しきれなかった排出量を、森林吸収量でオフセットし、排出量実質ゼロ

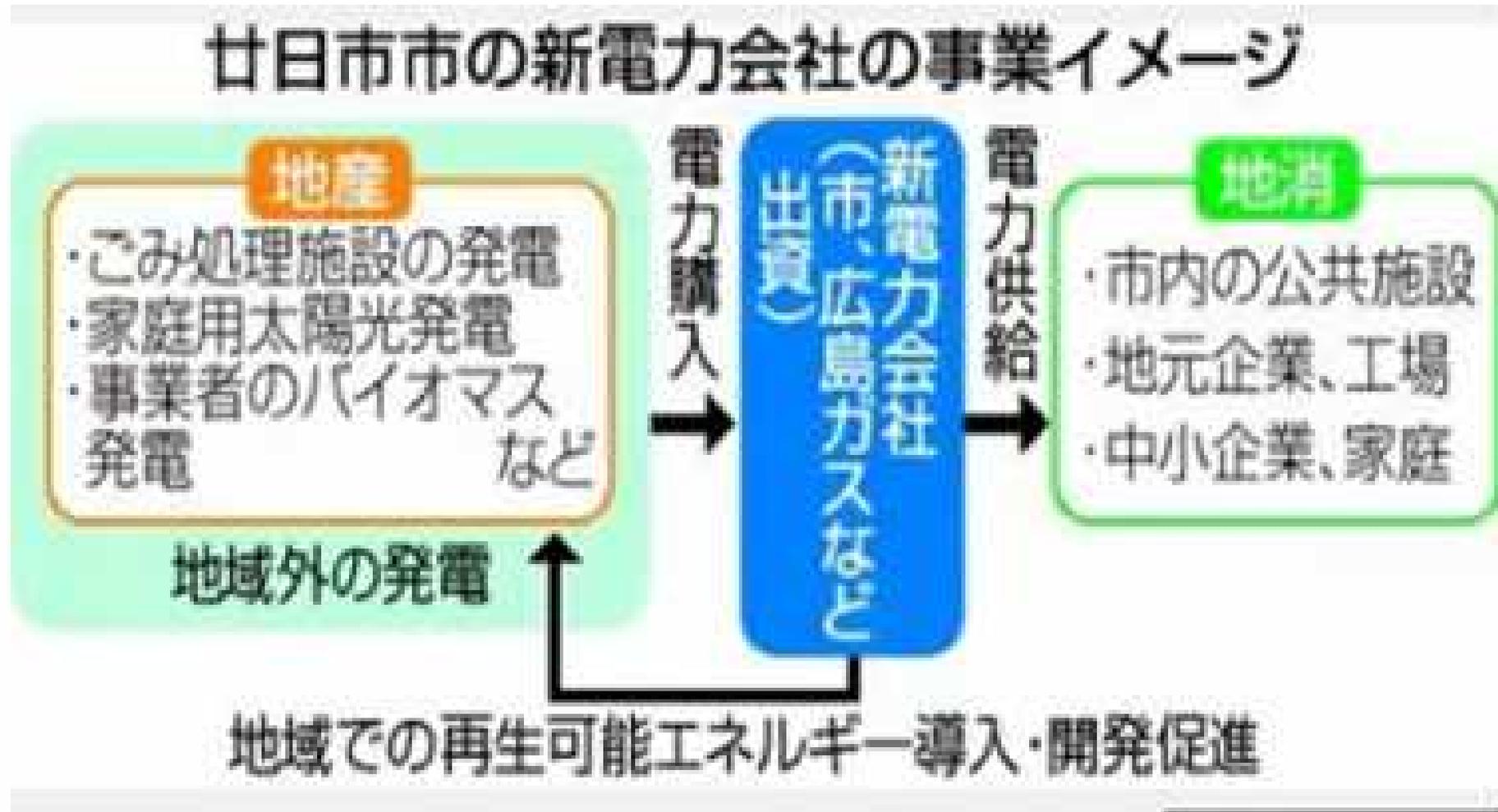
**(2) 施策の推進**

①地域新電力の設立  
②再エネ導入  
③省エネ対策  
④森林整備等による吸収源確保

## ②施策の推進 重点的な取り組み

# 1) 地域新電力会社の設立

卒 FIT 電源の域内利用の推進、電力排出係数の低減 等



## 2) 再生可能エネルギーの導入

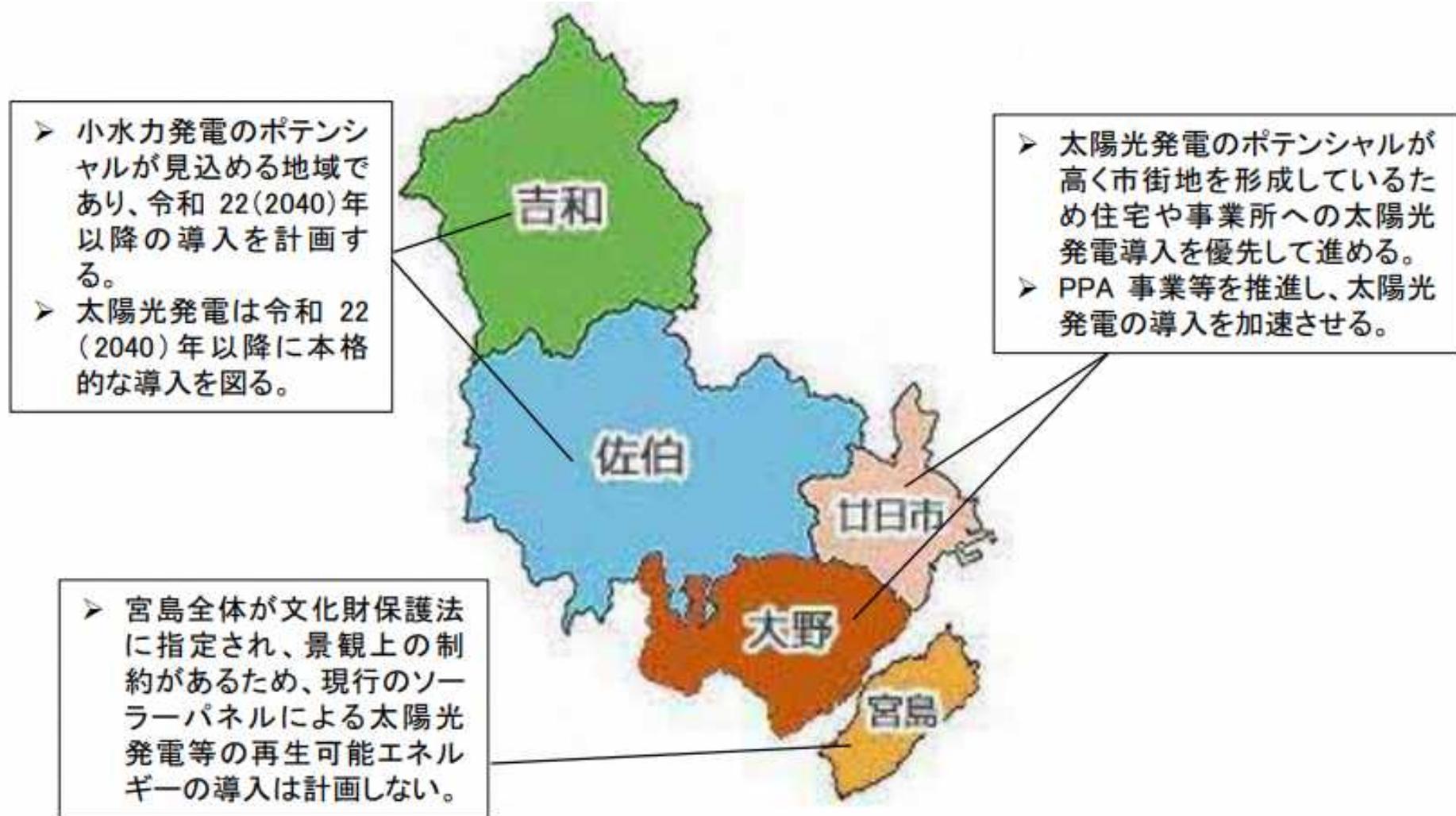


図47. 再エネ導入方針

表35. 再エネの導入目標

単位: MW

種別	現状	目標		
	2022 年度	2030 年度	2040 年度	2050 年度
太陽光発電	131	196.4(+65.4)	268.4(+137.4)	448.3(+317.3)
風力発電	0	0(+0)	0(+0)	0(+0)
中小水力発電	0.8	0.8(+0)	1.0(+0.2)	1.2(+0.4)
バイオマス発電	7.3	7.8(+0.5)	8.3(+1.0)	8.3(+1.0)

# 3) 省エネ対策

省エネ機器や高断熱・高気密の建物、二酸化炭素排出量の少ない自動車の導入等

## ③ 事業者・住民の削減活動の推進（省エネ・省資源の推進）

No.	項目	主な取組
1	公共施設の ZEB 化 <sup>※4</sup> ・省エネ改修 <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規公共施設の ZEB 化・省エネ改修</li> <li>エネルギー消費量の大きい公共施設における、大規模改修の際の ZEB 化・省エネ改修の検討 等</li> </ul>
2	建物の ZEB 化 ・省エネ化の推進 <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者への省エネ改修、省エネ診断等に関する情報発信</li> <li>市内関係事業者と連携した省エネ化や ZEB 化のメリット等の情報発信</li> <li>建築設計事務所、工務店等の ZEB プランナー登録の推進</li> </ul>
3	住宅の ZEH 化 <sup>※4</sup> ・省エネ化の推進 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係事業者と連携した、省エネ化や ZEH 化のメリット等の情報発信</li> <li>省エネ対策によるメリットの情報発信等による機運の醸成</li> <li>建築設計事務所、工務店等の ZEH プランナー・ビルダー登録の推進</li> </ul>
4	省エネ行動、脱炭素に向けた行動変容の推進 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた「デコ活」の推進</li> <li>市民や事業者の環境に配慮した行動への支援制度の導入の検討 等</li> </ul>

※4 快適な室内環境を実現しながら、建物の断熱化等により消費するエネルギーを減らし（省エネ）、太陽光発電等でエネルギーを創ることで（創エネ）、エネルギー消費量を正味でゼロにする建物や住宅。

## ④ 地域環境整備の推進（EV インフラ）

No.	項目	主な取組
1	次世代自動車導入 <sup>※5</sup> の推進 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の導入、充電スポットの拡充整備の支援/推進</li> <li>再エネ発電設備を導入した公共施設への V2B<sup>※6</sup>を導入、災害時の電力確保による地域のレジリエンスの強化 等</li> </ul> <p>▲ソーラーカーポートとEVを組み合わせたV2Bのイメージ 出典：北海道 渡島総合振興局 HP</p>
2	生活交通路線の効率化・EV化 <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活交通路線の効率化による、エネルギー使用量の低減</li> <li>各生活路線で利用している車両に適応したEV車の順次導入</li> </ul>
3	化石燃料に代替する新たな燃料の検討 <b>事業者</b> <b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長距離輸送トラックや船舶分野等における、化石燃料に代替する新たな燃料（電化、水素等）に関する技術動向の注視、導入の検討</li> </ul>

# 3) 省エネ対策

## ゴミの減量化・リサイクルの推進

### ⑤ 循環型社会の形成（ゴミの減量化・リサイクルの推進）

No.	項目	主な取組
1	脱プラの推進 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	▶ 宮島地域における観光の様々な場面での脱プラ化の推進による、サステナブルツーリズムの確立の検討
2	ごみの減量化 ・資源利用 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	▶ プラスチックごみの再資源化とそれによる減量化 ▶ 家庭用生ごみ処理機器の普及の推進 ▶ 食品ロスの削減による減量化 等

### ⑥ 普及啓発

No.	項目	主な取組
1	普及啓発事業の実施 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	▶ SDGs フェスタ等のイベントを通じた情報発信 ▶ 市民向け講座の実施
2	環境学習の推進 <b>市民</b> <b>事業者</b> <b>行政</b>	▶ 小中高等学校、大学等との連携による環境学習の推進 ▶ はつかいちエネルギークリーンセンター、宮島水族館等での環境学習の推進

## 4) 森林整備等による吸収源の確保



No.	項目	主な取組
1	森林吸収量の確保 事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 適切な森林整備等の推進による、将来的な二酸化炭素吸収源の確保</li><li>➢ 市有林の二酸化炭素吸収量を J-クレジット<sup>※7</sup>化するスキームの検討</li></ul>
2	ブルーカーボン <sup>※8</sup> の検討 事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 干潟等による二酸化炭素吸収量を J-クレジット化し、海域環境の保全と経済循環を一体的に進める仕組みの検討</li></ul>

## 補助金・助成金・支援金

次世代自動車導入促進補助金

令和6年度事業所用創工ネ・省工ネ設備導入促進補助金

令和6年度住宅用太陽光発電設備等導入促進補助金

電気自動車等導入促進補助金

【国交省・経済産業省・環境省補助金】住宅省エネ2024キャンペーン

# 海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち



▲エリア区分に応じた取組イメージ

2023（R5）年 4月20日  
瀬戸内海国立公園（宮島）  
環境省のゼロカーボンパークへ登録

国立公園において先行して脱炭素化に取り組むエリアを  
「ゼロカーボンパーク」として推進している。

# ゼロカーボンパークの登録状況

● 令和3年3月の開始以降、全国で17件、18市町村（令和6年6月16日時点）

	登録年月日	地方自治体	国立公園	備考
第1号	2021.3.23	松本市	中部山岳	乗鞍高原
第2号	2021.6.25	志摩市	伊勢志摩	志摩市全域
第3号	2021.9.24	那須塩原市	日光	塩原温泉・板室温泉地区
第4号	2022.3.18	妙高市	妙高戸隠連山	妙高市
第4号	2022.3.18	釧路市	阿寒摩周	阿寒湖温泉
第6号	2022.3.29	千歳市	支笏洞爺	支笏湖
第7号	2022.4.21	片品村	尾瀬	尾瀬かたしなエリア
第8号	2022.6.27	釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町	阿寒摩周	全国初の連名登録
第9号	2022.7.14	釧路市	釧路湿原	全国初の2国立公園登録
第10号	2022.7.22	日光市	日光	奥日光地域
第11号	2023.4.18	廿日市市	瀬戸内海	宮島
第12号	2023.8.23	福島市	磐梯朝日	土湯温泉・高湯温泉
第13号	2024.2.27	鳥羽市	伊勢志摩	鳥羽市
第14号	2024.3.1	立山町	中部山岳	立山町
第15号	2024.3.16	雲仙市	雲仙天草	雲仙市
第16号	2024.6.9	宮古市	三陸復興	宮古市
第17号	2024.6.16	美瑛町	大雪山	美瑛町

# ゼロカーボンパーク 登録選定条件

<p>該当自治体が<u>ゼロカーボンシティ表明</u>を行っている又はその予定であること。</p>	
<p>適切な森林管理や自然環境の保全による吸収量の確保を図るとともに、自然環境の保全に配慮した形で、需要側のカーボンニュートラルに向けた具体的な取組を行う予定があること。</p>	<p>ビジターセンターやホテル等の利用施設への自家消費型再エネ設備（太陽光・温泉熱）の導入・建築物の省エネ改修、モビリティの脱炭素化等）</p>
<p>国立公園内のみならず、周辺の観光エリアやアクセスを含め、エリア全体の脱炭素化を進めるものであること。</p>	<p>利用拠点間や最寄駅からの交通の脱炭素化等</p>
<p>脱炭素以外にもプラスチックゴミの削減など、サステナブルな観光地作りに資する取組があること。</p>	<p>ウォーターサーバーの設置、プラスチック容器の削減等</p>
<p>脱炭素・脱プラスチックの取組を国立公園利用者に対して普及啓発するものであること。</p>	<p>掲示や展示、web等での取組事例の紹介等</p>
<p>上記事項等を進めていくことについて、具体的な目標又は計画・ビジョン等（可能な範囲で2050年までの年限）があること</p>	<p>既存の計画等へ位置づけることも可とする</p>

# 宮島 ゼロカーボンパークの取組み

	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	備考
建物の省エネ化の支援	→住宅用導入促進補助	○	○	
	→事業所用設備導入促進補助	○	○	
EVの導入及び支援	→電気自動車等導入促進補助	○	○	
	→グリーンスローモビリティの実証試験	→民間事業者による事業化の検討 <b><u>グリスロ導入検討業務</u></b>		
		→民間事業者と連携したEV充電器の設置の検討		
脱プラの推進→支援	→ウォーターサーバーの設置 (おもてなしトイレ、杜の宿)	→マイボトルの普及 →民間事業者による設置の拡大		
普及啓発	→EVの普及とEVを活用した普及啓発			
	→環境フェスタの実施	○ <b><u>環境フェスタの開催</u></b>	○	
		<b><u>宮島ゼロカーボンパークに関する普及啓発業務</u></b>		
再エネの導入の検討				→PPA電力の導入 →技術革新(景観への影響がないタイプのもの)
公共施設の省エネ化				→新築→建替→改修のタイミングで実施
ゴミの再資源化				→ゴミの再資源化、食品ロスの軽減

【目的】： 環境への負荷が少ない乗り物を活用した、**新たな観光アクティビティとしての可能性を検討するために実施。**

【使用車両】： YAMAHA： A R-0 4（4人乗り）  
A R-0 7（7人乗り）

4人乗り：（全長3,151mm／全幅 1,354mm／全高 1,837mm）

7人乗り：（全長3,995mm／全幅 1,354mm／全高 1,837mm）

充電時間（8～12時間）

リチウムイオン電池73V×113Ah（AR-04,07とも）

走行距離（40～60k m ※ 気温、走行条件による）

【料金】： 無料

【運行日】： 12/11～1/24

（20日間（1日2回）計40回実施）

歴史コース 20回

海 コース 15回

山 コース 5回



①歴史のコース

②海のコース  
片道約6.5km

③山のコース  
片道約6.5km



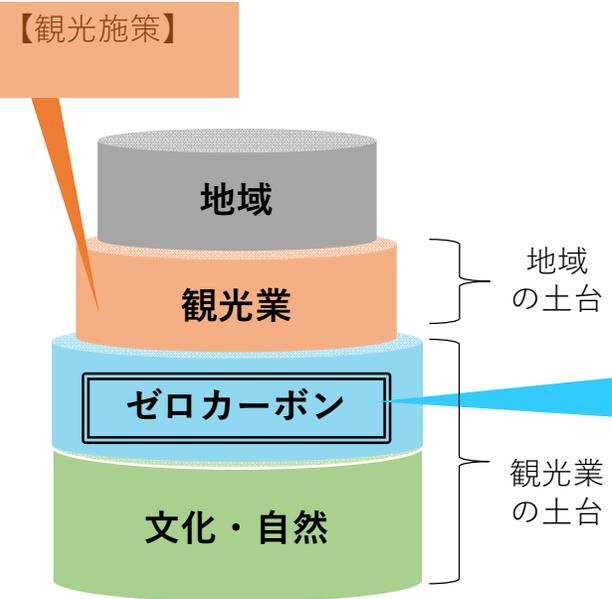
2023年				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
12月11日 AM: 歴史 PM: 歴史	12月12日 AM: 歴史 PM: 歴史	12月13日 AM: 歴史* PM: 海	12月14日 AM: 歴史* PM: 山	
			12月21日 AM: 歴史* PM: 山	
12月25日 AM: 歴史 PM: 歴史	12月26日 AM: 歴史 PM: 歴史	12月27日 AM: 歴史* PM: 海	12月28日 AM: 歴史* PM: 山	

2024年				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	1月9日 AM: 歴史 PM: 歴史	1月10日 AM: 歴史* PM: 海	1月11日 AM: 歴史* PM: 山	
1月15日 AM: 歴史 PM: 歴史	1月16日 AM: 歴史 PM: 歴史	1月17日 AM: 歴史* PM: 海	1月18日 AM: 歴史* PM: 山	1月19日 AM: 歴史 PM: 歴史
1月22日 AM: 歴史 PM: 歴史	1月23日 AM: 歴史 PM: 歴史	1月24日 AM: 歴史* PM: 海		

定員：6人、※は3人

# 11 ゼロカーボンパーク宮島での取組イメージ

- ・ゼロカーボンは、地域（観光業）の土台として関係者が一体となって取組む事項
- ・行政、宮島の事業者、観光客含め、宮島の関係者がそれぞれが出来ることを実行。



共通の目標	関係者（例）	役割・努力目標（例）
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【例】 目標とされる観光地を目指す！</b> </div>	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宮島で実施できるゼロカーボンの取組を推進・支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の省エネ化の支援</li> <li>・EVの導入及び支援（グリッド実証試験含む）</li> <li>・脱プラの推進・支援（ウォーターサーバーの設置）</li> </ul> </li> <li>・公共施設の省エネ化</li> <li>・普及啓発</li> <li>・再エネの導入の検討</li> <li>・ゴミの再資源化</li> </ul>
	ホテル事業者	●建物の省エネ化、可能な範囲での地産地消実施、アメニティ類のエコ化、ゴミの減量、食品ロスの軽減、脱プラの推進
	商店街・飲食店	●脱プラの推進、省エネ化、ゴミの減量、食品ロスの軽減、可能な範囲での地産地消
	コミュニティ	●ゼロカーボンへの理解。可能な範囲での取組。
	交通事業者	●CO2の排出が少ない（環境負荷の少ない）乗物へ更新
	アクティビティ事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法令遵守、文化財・自然に配慮したアクティビティの展開、清掃活動の実施等による資源保全への還元。</li> <li>●エコツアー・アドベンチャーツーリズム</li> </ul>
	観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域に負担をかけない（マイボトル、ゴミの削減、管理負担の大きい山間部のトイレはなるべく使用しない・・・）</li> </ul>

地域を支援

# 議長から市長へ申し入れ（R5年9月28日）

環境産業常任委員会での所管事務調査の後、次の点を申し入れました。

- ①ゼロカーボンシティ宣言や宮島がゼロカーボンパークに登録された件については、市民や事業者の協力なしには達成できない。ゼロカーボンパークについては、環境省の制度や登録後の取組みと目的などについて、宮島町内の住民及び事業者へ丁寧な説明を行うこと。
- ②ペットボトルの投げ捨て防止や、弥山トイレの使用について観光客への具体的な説明と対策を行い、協力を得ること。
- ③EV自動車の利用促進を図るため、事業者が行う充電設備設置について、許認可申請などの手続きなど市が協力してスムーズに設置できるよう、調査・調整を行うこと。

ご清聴 ありがとうございます。